

研究科題名:腹部超音波検査による糖尿病患者の膵嚢胞の頻度

研究の意義と目的:糖尿病が膵癌のリスク因子であることが指摘されています。膵嚢胞である **Intraductal papillary mucinous neoplasm (IPMN)**も糖尿病との関連性が指摘されていますが、詳細は十分に分かっていません。膵 IPMN は癌化することもあるため早期発見が重要です。糖尿病と膵 IPMN の関連性が明らかになれば、膵 IPMN の早期発見につながるため糖尿病診療上有益です。

対象となる方: 2020年7月1日から2022年3月31日まで当院糖尿病・内分泌内科で腹部超音波検査を行った方。

利用する情報:カルテ記録の情報(検査結果を含む)。

研究期間:2023年9月29日～2026年3月31日

個人情報の取扱:名前や個人を特定できる情報は一切公開致しません。また、研究成果は学会等で発表を予定しておりますが、その際も対象者を特定出来る個人情報は使用致しません。

研究への参加辞退をご希望場合:この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、下記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願い致します。参加の辞退を希望されても不利な扱いを受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいた時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は結果を廃棄できないこともあります。

研究責任医師:神奈川歯科大学附属病院 内分泌・糖尿病内科 青木一孝

電話番号 046-822-8896(4階内科外来)